



創立 2011年6月17日
SAITAMA UKISHIRO
JAPAN

埼玉浮き城プロバスクラブ

2025.2.21 発行
No. 164



例会日 毎月第3金曜日 行田市商工センター 行田市忍2-1-8 TEL 048-553-0510
事務局 〒360-0841 埼玉県熊谷市新堀 811-5 (幹事 森田義弘方) TEL・FAX 048-531-3630
会長 岩崎 安裕 副会長 加藤 力也 幹事 森田 義弘 広報情報委員長 牧野 憲史

本日のプログラム

第165回 通常例会(2月21日)

国歌斉唱・プロバス賛歌斉唱
会長挨拶 会長 岩崎 安裕
幹事報告／委員長報告・交流担当・同好会報告 幹事 森田 義弘
バースデー報告と会員スピーチ
須郷 隆会員 宮根 健治会員
山本よし子会員 柿沼 孝枝会員
卓話 行田ロータリークラブ会長 大谷 純一様
ハッピーボックス披露 例会委員 大澤 由子
閉会のことば 副会長 加藤 力也

第164回 通常例会(1月17日)

■幹事報告 幹事 森田 義弘

令和7年1月例会は21名の参加でした。昨年末に亡くなられた元顧問の渡邊栄一会員のご子息渡邊久記氏のご挨拶に訪問されました。15周年記念事業の特別会費が回収されます。卓話では小島敏男会員の市議会議員時代の楽しいお話を伺うことが出来ました。本年もよろしくお願ひいたします。

<第164回例会出席率
会員25名中21名参加 出席率21/25 84.0%>

お祝い

1月、2月に誕生日を迎えられた会員



左より
岩崎安裕会長 畠山恒雄会員 椎橋俊夫会員
安部節子会員 大澤由子会員 (加藤力也副会長)



渡邊久記氏ご挨拶

会長スピーチ

正月に餅を食べない地区があるって本当? (弘法大師伝説と魔除け)

会長 岩崎 安裕



栃木県に宇都宮市大谷町(石で有名)という所があります。大谷町には「正月に餅を食べない地区」があるという、本当か。

「大師の願いが、かなわなかったことを申し訳なく思い、正月に餅をつくことをやめたんだと」民話集「うちのみやの伝説」によると、平安時代に弘法大師が大谷を訪ねた。戸室山に100個の横穴を掘ろうと大晦日に夜通しで作業。99個を掘ったところで村から餅をつく音がした。【夜が明けてしまった】最後の1個を掘ることができなかった。以来村では餅ではなく赤飯を食べるようになった…と結んでいる。大谷町南東部、戸室山麓の戸室地区で住民は「うん、食べない」正月三が日は代わりに赤飯を神棚に供えるそう

です。家では餅は1月14日以降、別の場所から嫁いで来た方は餅なら、おしるこいろいろな食べ方があるけど赤飯は毎日しんどいと笑う。短い期間風習を守っていくという。

古い時代の風習だ。民話は餅を食べない理由として、大谷寺を開山した弘法大師の伝説と結び付けて創作したのだろうと民俗風習に詳しい専門家は推測する。

実は鹿沼市なども似た風習が見られ、餅ではなくサトイモを食べる地域もあるそうです。正月は伝統を重んじる年中行事の一つで古い風習が残りやすいかも知れません。調べると、赤飯は古代の【赤米】を模したのが由来のようです。魔除けで、神事に供えた風習が赤飯に受け継がれているかも知れません。

*2025年旧正月は1月29日です。

第164回例会 ハッピーボックス発表

◎今年の干支は巳で脱皮する蛇のイメージから「復活と再生」の年ともいわれている。我が国にとって、復活と再生の兆しが見えてくる明るいな年になることを強く願っています。会員の皆様健康で楽しく笑い合えるプロバスにして行きましょう。…岩崎会長 ◎令和7年1月例会会員の皆様と一緒に楽しい例会が出来ること一番の楽しみです。今年もよろしくお願ひいたします。…加藤副会長 ◎1995年の今日、私は朝9時に会議で横浜の支店の会議室に居りました。大阪支店のメンバーが来ないので心配していました。TVを観て事の重大なことに気づきました。…森田幹事 ◎小島会員の卓話が楽しみです。…畠山顧問 ◎皆さん あけましておめでとうございます。本年もまたご厚誼の程よろしくお願ひ致します。小島さんの卓話大変楽しみにしております。健康に留意して今年も楽しく過ごしましょう。…須郷顧問 ◎本年もどうぞ宜しくお願ひ致します。我家は今年受験生4人、3月終わるまで体調管理が大変です。無事に終わる事を祈る毎日です。…山本会員 ◎皆様あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひします。昨年は元気にプロバスに出席することが出来ました。今年も健康に気をつけプロバス活動を続けたいと思います。…安部会員 ◎明けましておめでとご御座います。本年もよろしくお願ひいたします。新たな年を迎え健康管理に気をつけプロバス活動を続けたいと思います。小島会員の卓話楽しみにしています。…藤倉会員 ◎渡邊栄一様のご冥福お祈り致します。小島先生の卓話楽しみにして居ます。今年も元気にいきたいです。皆様今年も

宜しく御願ひ申し上げます。…牧野会員 ◎新年おめでとごございます。今年も宜しくお願ひ致します。孫娘は今日8才の誕生日です。離れていてもメールで会えて話せますのでうれしいです。…田口会員 ◎巳年の本年正月から天気に恵まれ大きな事件、事故もなく良い年となっています。これからも一年皆様の健康をお祈り致します。…根岸会員 ◎今年もどうぞ宜しくお願ひ致します。新年早々、居間のフローリングの重ねばりを始めました。寸法を計算しながらDIYです。でき上がりが楽しみです。…木島会員 ◎今年もよろしくお願ひいたします。「三世代揃って幸せ初詣」健康第一で頑張ります。…小島会員 ◎「明けましておめでとごございます。」このところ好天が続いていますが、乾燥しきっています。風邪をひかないように。…鈴木秀憲会員 ◎阪神大震災から30年、あの時中国TVで見えていました。忘れてはならない災害です。…木村会員 ◎今年もよろしくお願ひ致します。…柿沼会員 ◎新春、初の小島さんによる卓話、毒舌を含めて大いに楽しみにして拝聴します。…保泉会員 ◎新年おめでとご御座います。きびしい寒さが続いております。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。小島会員の卓話楽しみです。…大澤会員 ◎誕生日祝ありがとうございました。…椎橋会員 ◎昨年末の渡邊栄一顧問のご逝去に際しお悔やみ申し上げます。永年に亘り浮き城プロバスクラブに対し情熱あるご指導を頂き感謝に堪えません。これからも天国で見守って下さい。…小林会員

文責 小林晴夫



第164回 例会卓話

私の政治体験記 ～市議編～

小島 敏 男

昭和46年、青年会議所活動がきっかけになり市議会議員の選挙に出馬して以来、39年間多くの人に支えられ政治の道を歩み続けることが出来ました。この度息子が市議会を3期務めて熊谷市議会議員になる事が出来ました。昨年10月議長就任祝いが開かれましたが、最後に父親として御礼の挨拶をしました。その時、私が初当選したときに両親に言われた言葉で締めくくりました。母は「人様に後ろ指をさされる人にならないで欲しい」父は「頼るは自己の力のみ」要はまじめに自分の道を開いて行け、という事だったと思います。これを機会に当時の事を振り返り様々な思い出と時代の変化に触れてみたいと思います。

初当選は今から53年前になりますが、世間の政治への関心度は今よりずっと高かったと思います。36名の定員に対して58名が立候補、結果として22名が落選すると

いう厳しい戦いでした。投票率も高く、1期目は83%、2期目は84.27%と、今では考えられない数字です。それに比べ令和5年に行われた市議選は40.68%で5割を切っており、その違いに驚かされました。選挙熱も高く各陣営もあの手この手で必死に戦っていました。公職選挙法も無きに等しく飲食は何を出しても自由、あの陣営では鰻、他陣営は寿司・天ぷらと、日替わりで奮発していました。夜になると票を取られるのを防ぐ為、村の入口に人を配置して焚火で暖を取りながら警戒していました。私の選挙を手伝ってくれた青年会議所メンバーの中には、大会社の社長も参加してくれていたことを後になって聞いたこともあります。

一方、選挙が終わると打って変わって楽しい仲間に変身するのも政治家の特技の一つかもしれません。今の社会とは全く違ってゆっくと時が過ぎていたので、議員同士の交流・お付き合いも盛んでした。私の場合は緑志会という6人会派に所属しており、各家庭を回り夕食を共にし政治談議に花を咲かせていました。また市議会議員親睦の為県内に野球大会が有り、毎年榛名の湖畔にある宿で1週間ほど合宿をしていました。事務局職員を交えての懇親会も有意義で楽しい思い出のひとつでした。

議員になって2年目の春、世界一人旅をしてみたいと申し入れ約2ヶ月(もちろん自費)アメリカ、ヨーロッパ等9か国を周ってきました。帰国後一般質問をし、将来の若者の為に姉妹都市提携について全議員を前に熱く訴えたことも良き思い出です。このことについては以前プロバス会報にも書かせてもらいましたが、若い時の経験がその後の人生に大きく役立つとは全く考えていませんでした。今の市議会ではとても無理な話ではありますが。

市議会になって一度だけ議長になりたいと思ったことがあります。それは1期生の時に参加した成人式の会場でのことでした。国会議員、県議会議員、市議会議員、来賓が多数出席する中、挨拶をするのは市長と市議会議長の二人だけでした。千人を超える新成人の前に立って「皆さんの将来は…」と格調高い話をしたいと思ったのです。時が経ち3期目の時、幸運なことに思っても見な

かった議長が舞い込んできました。1期目に夢に見ていた場面が実現することになったのです。色々と思案した結果ヨーロッパの哲学者が説いた言葉が見つかりました。「人生とは瞬間瞬間の積み重ねである」今、この時を大切に生きて欲しいと結びました。また、長かった政治生活の中で一番感動し感銘を受けた言葉があります。故小淵恵三元総理が愛用した言葉です。

「宿命に生まれ 運命に挑み 使命に燃える」どこに生を受けるかは自分で決めることはできません。巡り合った運命に挑戦し与えられた使命に全力を尽くすことです。

今ある自分は…と振り返ると挫折と失敗を繰り返しながら成長してきたような気がしてなりません。残り少なくなった人生、大いに楽しみたいと思う今日この頃です。

会 員 投 稿



自走で一人旅、九州・四国一周 86歳の体カテスト

木村 忠夫

私が50年来取り組んできたライフワークに全国各地の巨樹巡礼があります。既に数年前に1000本達成を図り、目下2000本達成に向け挑戦中です。

古女房殿が脳梗塞で倒れ意識のないまま2年有余入院の後、昨年6月に帰らぬ人になりました。その間巨樹巡礼は封印したままでしたが、喪も明けたことから巨樹探訪の再開と、第二の故郷である九州を生きているうちに回っておきたいとの強い衝動に駆られました。年齢的にも86歳と老境に達しており、毎月開催の6つのゴルフコンペも全てが最高齢者で、加齢による長距離運転に一抹の不安もありましたが、体力的には問題はないと判断し九州行を決意しました。

九州は私にとって第2の故郷です。20代の前半航空自衛隊に勤務しながら宮崎で短大、福岡で大学を卒業し、また21種の国家資格を取得した蛭雪時代の地です。日本通運時代山口県の統轄支店長として2年間過ごした下関は九州とは眼と鼻の先で、経済圏、生活圏では九州の方が繋がりは強いことから九州各地にはしばしば出掛け思い出がいっぱいあります。妻の学友で佐賀県出身の女性がいましたが、学生時代に二人で九州旅行した際、指宿の砂蒸し風呂に入った話を何度も聞かされたことから、指宿には一度行ってみたいと思っていました。

日本の仏教に多大な影響を及ぼした鑑真和上が中国の揚州にある大明寺で学を講じたゆかりの地を、中国勤務時代に訪れたことがあります。苦難の末6度目の渡航で日本上陸を果たした鹿児島県薩摩半島の秋目浦は一度訪れてみたいと前々から思っていました。…等々九州に対して

数々の思い入れに強く突き動かされました。

フェリーやレンタカーの利用もありますが、主体は巨樹巡礼にあることから、道中にある巨樹を立ち寄りながらの旅にしています。これが連続運転を和らげるとともに気分転換にも繋がるメリットもあり、出発から帰宅まで一貫してマイカー運転で通しています。宿泊ホテルは事前に予約しビジネスホテルが中心です。私の場合現役時代から出張の際には全国主要都市に展開している東横インを良く利用していました。会員メンバーにもなっていますが、巨樹巡礼時には、目を覚ましたら即次の目的地を目指し出発するので、ホテルが用意した朝食は食べたことはありません。専らコンビニの握りメシを運転しながら食べています。

昨年11月初旬の10泊11日間の九州行は終始良い旅でした。原爆クスで著名な長崎の山王神社の大クス、長崎県小長井町の日本一のオガタマノキ、カツラ日本一の佐賀県下合瀬の大カツラ、阿蘇南外輪山の高森殿の杉、アコウ1位の鹿児島県信楽寺のアコウ、挙げたらキリがありません。本土最南端の鹿児島県佐多岬は屋久島、種子島まで肉眼で望むことができ感心しました。大隅半島の内之浦ロケット基地、日本三大秘境の一つ椎葉村、高千穂神社の夜神楽、その他蛭雪時代の思い出の地は様変わりはしていましたが暖かく迎えてくれました。

総走行キロ5700kmは今までの記録では最長でした。帰宅後多少の疲れは感じましたが一晩熟睡したら旅の疲れは解消していました。両親から引き継いだ丈夫な体の遺伝子と、高校通学片道3里を自転車通学で培った強靱な体はだてではなかったと思ったものでした。この程度の疲労度合いだったらこれからも各地を回り2000本達成も夢ではない、行けるところまで挑戦してみよう、と変な自信が湧いてきました。雪の降らない内に次は四国だと目標をさだめ、九州一周から一か月も経たない昨年12月上旬に四国行きを決行しました。

四国行も順調で実り多い6泊7日 3700kmの旅でした。年

齢からして2度と訪れることもなかりと、巨樹探訪のほか半分は観光に充てました。

台風到来の度に良く報道される室戸岬、足摺岬は一度は訪れたいと思っていました。足摺岬ではジョン万次郎の生家が近くにあり見聞を広めました。四国の最西端に九州を突きさす様なノコギリサメの鼻に似た佐田岬、高い断崖絶壁と深い溪谷の祖谷溪、それに架かるかずら橋、大正時代の棧敷席が今も残る愛媛山間の内子座、四万十川は河口から土手伝いに走り沈下橋も試渡し上流の目黒川まで遡上してみました。四国の帰路は奈良に一泊し鑑真和上ゆかりの唐招提寺や、薬師寺、興福寺、東大寺、平城京、まほろば

の里明日香村まで足を伸ばし見聞を広めることができたのは大きな収穫でした。

終生巨樹探訪を趣味として、多くのことを学び経験し豊かさを享受できたことは大きな宝物です。転勤族の長男夫婦が現在札幌に居住しており、私も40代札幌に3年間勤務した思い入れの強い北海道に7月に一周したいとホテルも予約しました。その時には87歳になっており新たな挑戦が始まります。勿論自走の一人旅ですが、妻の遺影写真を胸に抱きながら同行二人の巨樹巡礼を安全に完遂させたいと思っています。 おわり



「源氏物語」時代の男女関係 (前編)

高橋 晋作

大河ドラマ「光る君へ」について

NHKテレビの放送に「光る君へ」が登場して、紫式部と「源氏物語」など平安朝文学に関心を持つ人が多くなっている。しかし、実際のドラマでは、耳慣れない名前の人が多く、その上同じ様な服装で登場するので話の筋を追うのが大変でした。ある程度予備知識がないと楽しく鑑賞するのは難しかったと思います。

「源氏物語」を匂わせておき乍ら、実は紫式部と藤原道長の関係が主題で、その結果「源氏物語」が生まれて来たと言う筋になっていた。ドラマの時代背景と登場人物の年齢を考慮すると無理な筋書きになっている部分も多々ありましたが、結局は「源氏物語」の誕生物語をフィクションを交えてドラマ化したものでした。「源氏物語」愛読者にはよい刺激になったと思います。

「源氏物語」の舞台裏

当時の男女関係を描きだしているのが「源氏物語」ですが、内容は上流貴族たちの男女の話が中心で、それに中流・下流階級も含まれている物語です。下流貴族の娘・紫式部には全く縁遠い世界の話です。しかし、それを可能にしたのが道長の存在であると思います。

舞台の中心は後宮(天皇の妃の住居)・清凉殿(天皇の御所)などであるが、紫式部が出仕の頃、内裏は焼失して無く、仮内裏は大臣の館(寝殿)であったと思われる。それなのに「源氏物語」の中では帝・女御・更衣・女房たちが内

裏で生き生きと生活している姿を描いている。また、帝・皇子・皇女・上流貴族などの恋の駆け引きなど知る由もない立場の紫式部が源氏物語の中では見て来た様に描いている。それを可能にしたのが、国司・漢学者の父藤原為時からの影響であり、左大臣道長との出会いであったと思われる。

貴族たちの恋のやり取り

当時貴族の生活を支えていたのは、国からの手当であり、それはその人の位・官により定められていた。よりよい生活の為にはより上位の人と結ばれることが必要であった。その上、貴族には「蔭位制度(親の七光りで、二十歳になると親の位に相応しい位を授かる)があり、男子は親の位を引き継ぎ、女子は親の財産を引き継いだ。

男女とも、適齢期に成ると侍女・下男たちに、良い噂を流させ、またよい情報を集めさせ、これはという相手に恋の手紙を送る。その時の文面の中心が短歌であった。二回三回程度の恋文では女は返事も書かないのが常識であった。男の家系を調べ、最終的に返事を書く。男は女の家経済状態、父親の官位を調べ恋文を送る。当時の結婚形態は「通い婚」が主なかたちであったが、男の衣服・食事等の生活全般を女の家で負担していた。家計に余裕がないと男を娘の所に通わせることはできなかった。

紫式部は結婚適齢期(十五歳位～十八歳)の頃、父為時は花山天皇の側近で式部丞の位置にいたが、兼家の陰謀で花山天皇が出家してしまったので、官を失い生活はどん底に突き落とされ、婚期を失ってしまった。それから十年後、越前守となったが紫式部の婚期は過ぎてしまっていた。このことがまた、「源氏物語」執筆の契機に成ったとも言われている。順調に結婚していたなら物語は書かなかったであろう。(後編へ続く)

浮き城俳句会 1月句会(第141回)

兼題-「初」の文字を入れる、当季雑詠

またひとつ年賀じまいの便りあり
こぼぎて道一すじの踊り初め
恙なく迎えし年の冬夕焼
初句会一人銀河に旅立ちぬ
終活も気負いなきまま去年今年

木島 泉
大澤扇由女
安部節子
鈴木理翠
小島凡太

人気なき冬枯れの野辺富士仰ぐ
松納め餅の入りたる今朝の粥
順を待つ患者は無言着膨れて
星仰ぎ懐手に聴く除夜の鐘

須郷岐川
田口半茶
岩崎歩睦
高橋善村